

清和中便り

第1号

令和6年4月17日
文責 校長 山本祥博

11名の新しい仲間を迎えて

11名の新しい仲間を歓迎する桜が残る中、4月9日に入学式を行い、全校生徒38名、清和中学校の令和6年度が始まりました。

「清和中学校の生徒としての誇りをもち、互いに支え合って良き伝統を守っていけるよう精一杯努力をしていきます。清和中学校の一員になれたことを感謝し、人を思いやる気持ちを忘れず、たくましく成長していくことを、ここに誓います。」新入生代表熊川詩乃さんの誓いの言葉が示すように緊張の中にも凛々しく、希望溢れる1年生の姿をととても頼もしく感じました。



今年度の目指す生徒の姿として「主体性、向上心を備えた生徒」を掲げました。式の終わりに保護者代表の佐藤真実さんが話された「失敗を恐れず、何事にも挑戦してほしい。」という激励の言葉、「いろいろな困難にぶつかることもあるかと思いますが、あきらめることなく、前に進んでいきたいと思います。」とも述べた熊川さんの誓いの言葉は、新入生のみならず、全ての生徒が大切に、心に残してほしい言葉でした。

また、先日の授業参観、PTA総会、学級懇談会は大変お世話になりました。今回もほぼ100%のご出席に大変ありがたく、また感動しました。総会時に時間をいただき話をさせていただいたように今年度の学校教育目標を

夢の実現に向け、挑戦し続ける生徒の育成

としました。家庭、学校、地域、行政が連携協力し、同じ方向を向いて同じ思いで関わるのが最大の教育効果につながります。どうぞ、本校教育へのご理解とご協力をお願いいたします。

学校教育目標についての思い

キーワードは「幸せの実感」

子供達が将来幸せを実感するという事は、一人ひとりの夢を実現することだと思います。そのために、まずは自分の夢や目標を持つこと、そしてそれに向かって挑戦すること、さらには多少の困難や挫折があろうともあきらめず、たくましくねばり強く努力を続けること。そんな力をこの中学生の時期に育てたいという思いでこの言葉にしました。これまでの本校の取組を生かしながらさらに前進するよう職員一丸となって努めてまいります。

